



2020年度 環境経営活動レポート

(運用期間：2020年4月～2021年3月)



共同技研株式会社

発行日：2021年6月30日

環境経営方針

■ 環境配慮に対する考え方

共同技研株式会社は、『循環産業における「情報と物流の効率化」と「革新技術・サービスの提供」によって人と産業を活性化する』を企業ビジョンとして掲げ、事業を通じて循環型社会の実現を後押ししています。

また社内では、事業活動に伴う環境負荷に配慮することを、企業・社員として欠くことのできない社会的責任と位置づけています。社員ひとりひとりが当たり前のこととして取り組むことで、継続して事業活動による環境負荷の低減を進めてまいります。

■ 基本方針

以下の基本方針をもとに環境マネジメントシステムを構築し環境活動の根幹に据え、これを継続的に運用していくことで着実な環境負荷低減を実施してまいります。

1. 重点項目の設定

環境負荷低減に関する取り組みにおいては、やみくもに取り組むのではなく、実施効果を重視した取り組みを進めます。環境負荷の大きいものを重点項目として設定し、優先順位をつけて活動を行うことで取り組みの効果を常に最大化します。また、定期的な見直しを実施します。

差し当たっては、次の項目を重点項目とし、優先的に取り組んでまいります。

- ①二酸化炭素の排出量削減
- ②廃棄物の排出量削減
- ③水使用量の削減
- ④グリーン購入の推進
- ⑤産業廃棄物収集運搬における環境配慮（騒音・悪臭など）

2. 経営改善と環境負荷低減の両立

長期的かつ着実に環境負荷低減の取り組みを進めていくためには、その取り組みが経営の負担となるものではなく、取組結果が環境負荷の低減と経営改善に寄与していくものでなければなりません。これを実現するため、環境負荷低減の活動内容は中期的な経営課題と市場チャンスを踏まえたものを設定します。

一例として、「人材不足」という中期経営課題と「環境保全意識の高まり」という市場チャンスに対して、「環境負荷低減に貢献できる人材の育成」という活動実施し、その結果として「お客様への提案力向上」や「燃料コスト削減」などにつながるよう進めてまいります。

3. 環境関連法規の遵守

環境関連法規を遵守します。このため社内での管理体制を構築し、当社事業に関わる環境関連法規および環境負荷に関する法令を明確にし、また、定期的に遵守状況についてチェックを実施します。

4. 事業活動を通じた環境負荷の低減

事業活動を通じて、お客様の環境負荷低減に貢献してまいります。

5. 取り組み状況の公開

環境負荷配慮の社会的責任を着実に果たしていくため、定期的に取り組み状況を公表します。取り組み状況を取りまとめた環境経営レポートを公開し、透明性を持って取り組みを進めてまいります。

共同技研株式会社
代表取締役社長 酒木 悠次

1. 組織の概要

(1) 事業者名および代表者名

共同技研株式会社
代表取締役社長 酒木 悠次

(2) 所在地

本社：広島県呉市本通4丁目8番28号
下松営業所：山口県下松市潮音町8丁目2番27号
平生太陽光発電所：山口県熊毛郡平生町大字大野北字中屋952-7

(3) 法人設立日

2000年5月19日

(4) 資本金

1,000万円

(5) 環境管理責任者および担当者並びに連絡先

環境管理責任者 木村 原理
Phone 0823-32-2711
E-mail g-kimura@kyodogiken.com

(6) 事業内容

産業廃棄物収集運搬業
太陽光発電事業

(7) 事業規模

	2018年度	2019年度	2020年度
売上高 (千円)	204,325	255,992	239,572
従業員数 (人)	9	10	11
収集運搬車両台数 (台)	9	9	11

(8) 事業年度

4月1日～3月31日
(※今回の活動レポートは2020年4月1日～2021年3月31日)

2. 事業計画の概要

(1) 産業廃棄物収集運搬の全体計画

排出事業者様の事業場より排出される産業廃棄物を収集し、様々な処分場へ運搬いたします。

産業廃棄物の運搬にあたっては、事前に排出事業者様との委託契約を締結が必要になります。この際、許可品目以外の産業廃棄物についてはご契約頂けません。

産業廃棄物の引き渡しをお受けする際には、紙マニフェストもしくは電子マニフェストの受渡確認票により、産業廃棄物の種類、数量等を確認させていただきます。また、マニフェスト類は運搬先に回付いたします。

排出先事業者様には、適正で安定的な処理をご継続頂き、さらにリサイクル率の向上をお手伝いできるよう、様々なご提案を行っております。

(2) 休業日および業務時間

[休業日]

日曜日、祝祭日、その他会社の定める休日
(年末年始、お盆)

[業務時間]

1日あたり9時間 (うち休憩1時間)

(3) 許可の内容

[産業廃棄物収集運搬業許可]

岐阜県 許可番号 第02100076667号
三重県 許可番号 第02400076667号
兵庫県 許可番号 第02806076667号
島根県 許可番号 第03200076667号
岡山県 許可番号 第03301076667号
広島県 許可番号 第03409076667号
山口県 許可番号 第03500076667号
愛媛県 許可番号 第03807076667号
福岡県 許可番号 第04000076667号

(取扱廃棄物などの詳細は次頁に記載)

[特別管理産業廃棄物収集運搬業許可]

島根県 許可番号 第3250076667号
山口県 許可番号 第03550076667号
広島県 許可番号 第03450076667号

[一般貨物自動車運送業]

中国貨物 第229号

■ 産業廃棄物収集運搬業許可

許可自治体	積替保管の有無	優良認定	取扱廃棄物の種類																				
			燃え殻	汚泥	廃油	廃酸	廃アルカリ	廃プラスチック類	紙くず	木くず	繊維くず	動植物性残渣	動植物系固形不要物	ゴムくず	金属くず	ガラスコップ・陶磁器くず	鉱さい	がれき類	動物の糞尿	動物の死体	ばいじん	産業廃棄物処理物	輸入された廃棄物
岐阜県 第02100076667号	無		●	●	●	●	●	●	●	●	●	●			●	●	●	●			●		
三重県 第02400076667号	無		●	●	●	●	●	●	●	●	●	●			●	●	●	●			●		
兵庫県 第02806076667号	無		●	●	●	●	●	●	●	●	●	●			●	●	●	●			●		
島根県 第3200076667号	無	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●			●	●	●	●			●		
岡山県 第03301076667号	無	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●			●	●	●	●			●		
広島県 第03400076667号	無	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●			●	●	●	●			●		
山口県 第03500076667号	無	●	●	●	●		●	●	●	●	●	●			●	●	●	●			●		
香川県 第03709076667号	無	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●			●	●	●	●			●		
愛媛県 第03807076667号	無	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●			●	●	●	●			●		
福岡県 第04000076667号	無	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●			●	●	●	●			●		

■ 特別管理産業廃棄物収集運搬業許可

許可自治体	積替保管の有無	優良認定	取扱廃棄物の種類															
			特定有害産業廃棄物										廃水銀等	廃石綿等				
			廃油	廃酸	廃アルカリ	感染性廃棄物	廃油	廃酸	廃アルカリ	汚泥	鉱さい	燃え殻			ばいじん			
島根県 第3250076667号	無		●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●			●	●
広島県 第03459076667号	無		●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●			●	●
山口県 第03550076667号	無		●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●			●	●

3. 施設および処理の概要

(1) 運搬車両の種類・能力（2021年3月31日時点）

	車両型式	最大積載量 (kg)	仕様等
1	セミトレーラーダンプ車	21,000	水密仕様・土砂等積載禁止
2	セミトレーラーダンプ車	20,600	水密仕様・土砂等積載禁止
3	ダンプ車	10,800	水密仕様・土砂等積載禁止
4	ダンプ車	10,600	水密仕様・土砂等積載禁止
5	ダンプ車	10,500	水密仕様・土砂等積載禁止
6	ダンプ車	9,500	水密仕様・土砂等積載禁止
7	ダンプ車	11,000	
8	ダンプ車	10,900	
9	ダンプ車	10,700	
10	ダンプ車	9,200	
11	アームローラー車	4,000	

(2) 処理実績

品目	単位	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度
鉱さい	t	39,842.59	35,335.18	29,011.31	14,747.64	13,295.99
汚泥	t	8,077.54	6,869.83	15,982.74	13,061.19	11,098.60
燃え殻	t	319.85	408.93	337.56	1,837.58	2,118.21
ばいじん	t	42.31	618.56	49.34	36.24	635.32
がれき類	t	-	20.00	-	-	3.00
ガラスくず等	t	43.55	54.24	176.99	100.18	124.43
繊維くず	t	-	-	14.61	33.85	13.22
管理型混合廃棄物	t	2,537.46	-	10.69	75.80	263.10
廃油	t	-	-	-	-	0.05
汚泥（特管）	t	2.55	2.27	-	-	-
合計	t	50,865.85	43,309.01	45,583.24	29,892.48	27,551.92

4. 認証・登録の対象範囲

(1) 対象事業者

共同技研株式会社

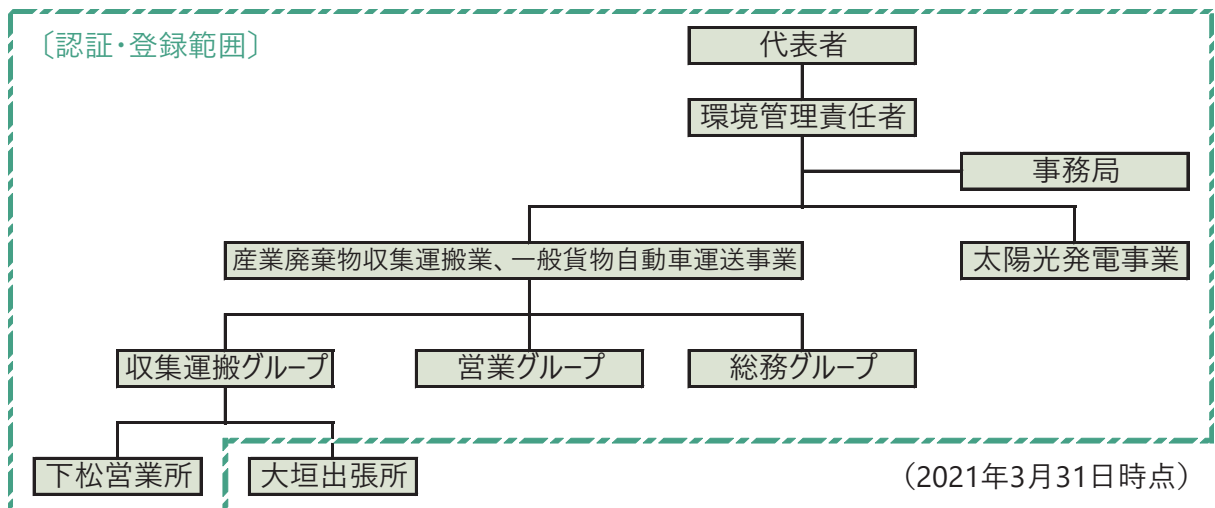
(2) 対象事業所

本社事務所、下松営業所
平生太陽光発電所

(3) 対象活動

産業廃棄物収集運搬業、太陽光発電事業、一般貨物自動車運送事業

(4) 組織図および認証・登録範囲



(5) 役割分担

所属	役割・責任・権限・使命
代表者	全体の統括、環境経営方針の設定、全体の評価と見直し 経営における課題とチャンスの明確化
環境管理責任者	全体の把握／環境経営システムを構築、運用し、その状況を代表者に報告 6ヶ月ごとに環境目標の達成状況及び活動計画の実行状況を審議
事務局	EA21文書及び記録類の作成・維持・管理
営業グループ	6ヶ月ごとに環境目標の達成状況及び活動計画の実行状況を審議 車燃料(ガソリン) 消費量管理、苦情等の対応
総務グループ	電力、水消費量の集計管理 廃棄物の廃棄量管理、リサイクル率管理 環境ラベル製品の購入管理
収集運搬グループ	車燃料(軽油) 消費量管理

5. 環境目標と実績

(1) 当期間の環境目標と実績、および中期環境目標

取組目標	基準実績 (基準年度)	目標			今年度実績		
		2020年度	2021年度	2022年度	実績	達成率	判定
1. 二酸化炭素排出量の削減							
ガソリン使用量の削減 (L)	2,849 (2015年度)	2,763.53 (△3.0%)	2,735.04 (△4.0%)	2,706.55 (△5.0%)	2,353.22	117%	○
電力使用量の削減 (KWh)	3,911 (2013年度)	3,911	3,911	3,911	7,413	53%	×
トラックの燃費向上 (km/L)	3.31 (2016年度)	3.34 (△1.0%)	3.38 (△2.0%)	3.41 (△3.0%)	3.28	98%	×
2. 自社発生廃棄物の削減							
自社発生廃棄物の削減 (kg)	173.65 (2013年度)	149.34 (△14.0%)	147.60 (△15.0%)	145.87 (△16.0%)	226.73	66%	×
3. 水使用量の削減							
使用水量 (総排水量) (m ³)	52.5 (2015年度)	49.88 (△5.0%)	49.61 (△5.5%)	49.35 (△6.0%)	141	35%	×
4. 受託した産業廃棄物の収集運搬における環境配慮							
顧客からの苦情ゼロ (件)	0 (2015年度)	0.00	0.00	0.00	0	100%	○

(2) 過去3年間の実績

取組目標	実績		
	2017年度	2018年度	2019年度
1. 二酸化炭素排出量の削減			
ガソリン使用量の削減 (L)	3,414.44	4,025.65	3,216.64
電力使用量の削減 (KWh)	4,495.00	4,752.00	5,748.00
トラックの燃費向上 (km/L)	3.10	3.20	3.31
2. 自社発生廃棄物の削減			
自社発生廃棄物の削減 (kg)	121.11	183.55	169.10
3. 水使用量の削減			
使用水量 (総排水量) (m ³)	53.00	83.00	109.00
4. 受託した産業廃棄物の収集運搬における環境配慮			
顧客からの苦情ゼロ (件)	0.00	0.00	0.00

※電力の二酸化炭素排出係数は中国電力2010年度の0.728 kg - CO₂/KWhを使用

※電力使用量の削減については維持管理項目とする

※化学物質は取り扱い無し

6. 当期間の環境活動計画と結果および評価、翌期の取組内容

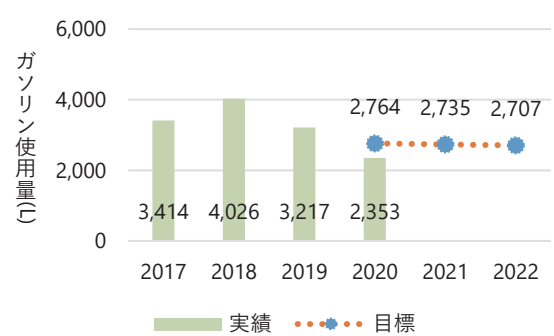
(1) ガソリン使用量の削減

環境活動計画		責任者
1	ハイブリッド車や低燃費車、低排出ガス認定車、電気自動車、天然ガス自動車等の低公害車への切り替えを進める	木村
2	急発進・急加速や空ぶかしの排除、駐停車中のエンジン停止等エコドライブを励行する	木村

環境活動計画の取組結果とその評価、次年度の取組内容

対目標117%と目標を達成することが出来ました。2020年度は新型コロナウイルスの感染拡大を受け営業活動の大きな変革が求められる一年となり、対面以外での営業手法が大幅に増加しました。顧客に対して見積書などを提示する場合も、これまでは現地へ直接訪問することが多かったですが、メールなどWebを活用する営業手法が定着してきています。一方で、顧客との距離感を感じることも増えたと実感しています。

これからはアフターコロナを見据え、対面以外でも成果につながるような営業手法を探り、実践したいと思います。
〔環境管理責任者 木村〕

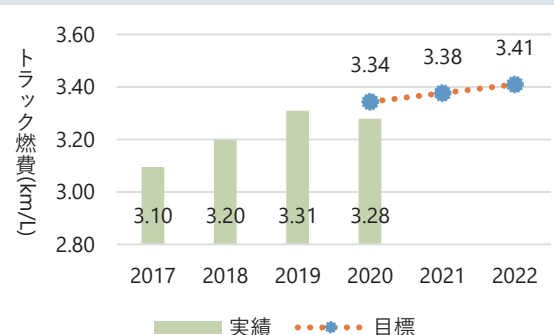


(2) 軽油使用量の削減

環境活動計画		責任者
1	デジタル式運行記録計、ドライブレコーダー等エコドライブ関連機器を導入する	早川
2	急発進・急加速や空ぶかしの排除、駐停車中のエンジン停止等、エコドライブを励行する	早川
3	作業時間や待機時間、走行距離の短縮化を図る	早川

環境活動計画の取組結果とその評価、次年度の取組内容

今期から新たな指標として「トラックの燃費向上」を掲げ、取り組みをスタートしました。結果として目標に対して98%と未達ではありましたが、燃費というわかりやすい指標を設定することで、ドライバーがこれまで以上にエコ・ドライブを意識して運転するようになったと思います。引き続き、エコ・ドライブへの取り組みを継続し軽油使用量の削減を図ります。
〔収集運搬グループ 早川〕



(3) 電力使用量の削減

環境活動計画		責任者
1	複層ガラス、二重サッシ等を採用し、建物の断熱性能を向上させる	滑
2	熱線吸収ガラス、熱線反射ガラスを採用し、日射を遮断する	滑
3	太陽光発電設備を導入し、太陽エネルギーを電気として利用する	滑
4	太陽熱温水器等を導入し、加熱した水を暖房や給湯に利用する	滑
5	冷暖房終了時間前に熱源機を停止し、装置内の熱を有効利用する	滑
6	コピー機、パソコン、プリンター等のOA機器については、エネルギー効率の高い機器を導入する	滑

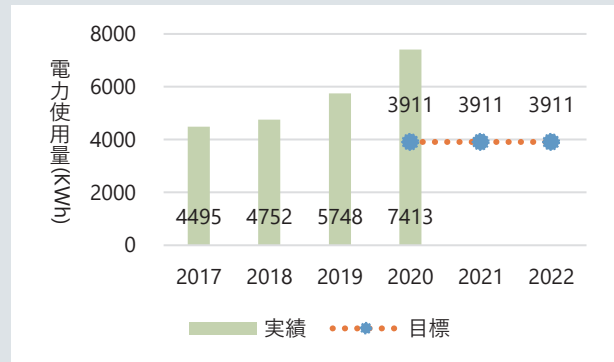
環境活動計画の取組結果とその評価、次年度の取組内容

年間電力使用量は対目標53%で未達成となりました。

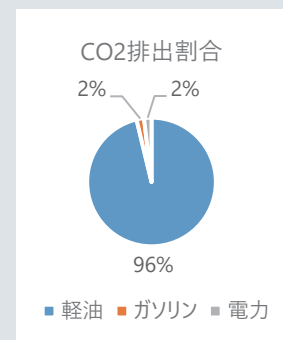
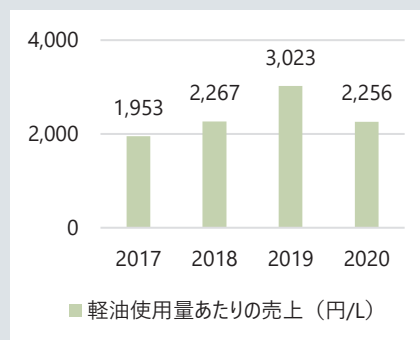
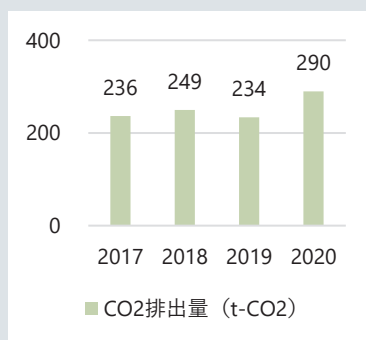
達成できなかった要因としては、基準年度の時点では下松営業所はなく本社のみでしたが、今年度は下松営業所が加わったことが大きいと考えられます。下松営業所は早朝から勤務するので、冬場の低温でエアコンの使用量が増加します。対策としては加湿器を2台にして湿度を上げ対応しています。

夏場は窓に断熱フィルムを張ったり、ミストシャワーを設置して温度を下げています。本社も複合機を節電型に買い替えました。今後も引き続き節電できるよう工夫していきたいと思っております。

〔総務グループ 滑〕



■ 二酸化炭素排出量の削減まとめ



環境活動計画の取組結果とその評価、次年度の取組内容

当社のCO2排出量のうち、9割以上（96%）が軽油使用に由来している状況はこれまでと変わりありません。CO2排出量は290（t-CO2）と過去最大とはなりましたが、低燃費な大型車両の導入や帰り便の活用により、収集運搬業務における軽油使用の効率化は引き続きすすめることができます。

翌期以降も軽油使用の効率化を重点課題として取り組んで参ります。

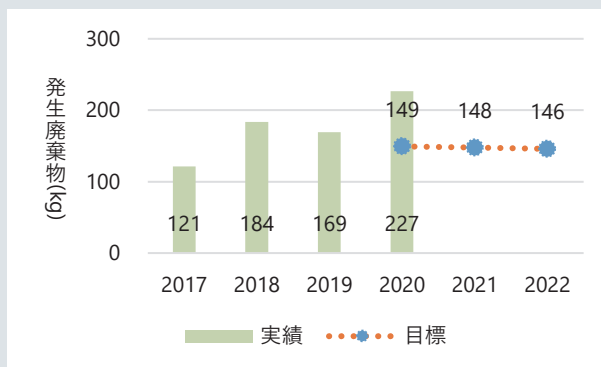
〔環境管理責任者 木村〕

(4) 自社発生廃棄物の削減

環境活動計画		責任者
1	リターナブル容器に入った製品を優先的に購入し、使用する	滑
2	再使用またはリサイクルしやすい製品を優先的に購入し、使用する	滑
3	紙、金属缶、ガラスびん、プラスチック、電池等について、分別回収ボックスの適正配置等により、ごみの分別を徹底する	滑

環境活動計画の取組結果とその評価、次年度の取組内容

通期での達成率は66%となり、目標は未達成となりました。達成出来なかった要因として、電力と同じになりますが、基準年度においては下松営業所が開設されておらず、本社だけの廃棄物発生量で目標値が設定されているからだと思います。これからは下松営業所の社員にもリサイクル活用、資源回収などにさらに参加してもらおうと思います。紙類も両面コピーの徹底、裏紙使用など、無駄なく使用していきたいと思っています。今後も下松営業所と話し合いながら更なる改善を進めていきたいです。
〔総務グループ 滑〕

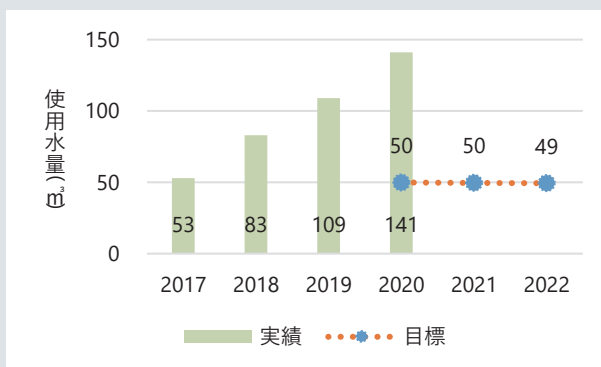


(5) 使用水量（総排水量）

環境活動計画		責任者
1	雨水の貯留タンクや雨水利用施設の設置等により、雨水利用を行っている	滑
2	水道配管からの漏水を定期的に点検している	滑
3	手洗い時、洗い物においては、日常的に節水を励行している	滑

環境活動計画の取組結果とその評価、次年度の取組内容

年間使用水量の達成率は35%で未達成となりました。手洗いや食器類の洗い物などは節水できていると思います。大幅に使用量を上げているのはトラックの洗車ですが、運転手とミーティングを重ねて改善できるように話し合っています。ホースの先にストッパーを取り付けたり、高圧洗浄機で素早く洗車するなど工夫してくれています。雨水の活用も考えていますが、タンクの取り付け場所に制約があるため、なかなか進めることができていないのが現状です。他にも良いアイデアはないか、運転手と話し合いながら少しでも改善できるよう努力していきたいです。
〔総務グループ 滑〕



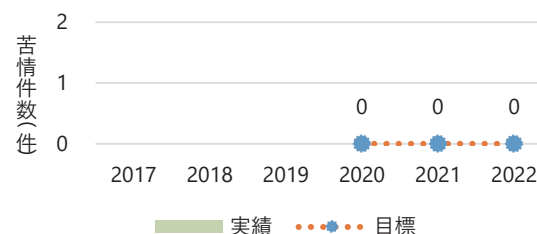
(6) 顧客からの苦情ゼロ

環境活動計画		責任者
1	最新の排ガス規制や騒音規制に適合した車両への代替を進める	木村
2	外部からの情報提供、公表依頼に対する窓口を設ける	木村
3	意見聴取を定期的に行い、環境への取組の際、考慮する	木村

環境活動計画の取組結果とその評価、次年度の取組内容

苦情なく目標を達成することが出来ました。
引き続き意見聴取を定期的に行いながら、来年度も苦情0件を達成できるよう取り組みを継続いたします。

〔環境管理責任者 木村〕



7. 太陽光発電設備の概要

当社では、2018年7月より発電出力49.5kWの太陽光発電システムを導入しております。

今後も再生利用エネルギーの活用を推進していくとともに、社員一人ひとりの環境への意識を高められるよう取り組みを継続して参ります。



(1) 所在地

山口県熊毛郡平生町

(2) 発電出力

49.5kW

8. 環境関連法規の遵守状況、および訴訟の有無

弊社の事業活動において、主な対象となる法律は「廃棄物の処理及び清掃に関する法律（廃棄物処理法）」があります。

廃棄物処理法をはじめ、環境関連法規の遵守状況をチェックした結果、違反はありませんでした。

なお、関係当局よりの違反等の指摘、利害関係者からの訴訟等も過去にありません。

9. 代表者による全体評価と見直しの結果

今期より「産業廃棄物処理業者向けガイドライン2017年版」を採用し、境負荷低減の取り組みを再スタートいたしました。これに伴い、従来の環境活動方針をベースに、あらたに環境経営方針を策定いたしました。

あらたな環境経営方針は、エコアクション21に基づく環境マネジメントシステムを当社の環境活動の根幹として明確化し、また、環境負荷低減の取り組みと事業活動の一体化をいっそう推進するものといたしました。

このような中、運行の安全性を向上させるため、下松車庫（山口県下松市）を下松営業所として格上げし、営業所に社員が常駐するようになりました。また、運搬車両の総数も増加しました。一方で、このことは環境負荷を増大させ、一部の項目において、環境目標を大幅に下回る結果につながることもなっていました。未達となった項目については、総量・単位あたりの両面から環境負荷を低減させる取り組みを強化して参ります。同時に、取り組みの実効性を確保していくため、事業実態の変化に応じた柔軟な目標設定を行って参ります。

今期は新型コロナウイルス感染症が猛威をふるい、当社の事業活動も大きな影響を受けることとなりました。また、「国内CO2の削減目標の設定」や「脱プラスチック」など、循環型社会実現への動きが急加速する一年でもありました。このような潮流を捉えつつ、事業活動を通じて循環型社会の実現に貢献できるよう、引き続き社内外において環境負荷低減の取り組みを進めて参りたいと存じます。

代表取締役社長 酒木 悠次